

輪之内町立大藪小学校で防災講座を行いました

令和7年10月31日（金）、輪之内町立大藪小学校で5年生34名に防災講座を行いました。学校は長良川と揖斐川に挟まれています。この学校での講座は3年目となります。

講座では、輪之内町でも被害のあった伊勢湾台風や長良川が決壊した昭和51年の9.12豪雨災害など過去の水害について学習しました。9.12豪雨で長良川が決壊した際に浸水被害を軽減した福束輪中堤は、全国初の浸水被害軽減地区に指定されています。

浸水疑似体験映像の視聴中には「怖い」との声が多く聞かれ、〇×クイズで歩行可能な浸水深などを確認した際には、「だからさっきの映像の人は歩けなかったんだ！」と驚いた様子も見られました。また、伊勢湾台風A1語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験も行い、「復興費用はどのくらいですか？」「トイレはどうしていたんですか？」と積極的に質問をし、伊勢湾台風への理解を深めました。

児童からは、「過去の水害を見て知るだけでなく、そこからどうしたらいいかどう避難するかなどを考えて、具体的に対策することが大切だと思いました。」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、読売新聞に取材頂きました。

